第３２９回　令和８年１１月１３日（金）

## 「本質とは何か」

　ブランド物のバックや服は高価であってもよく売れます。ブランドという付加価値がその商品についていることが理由ですが、それはその商品の品質を保証しています。丈夫であったり、使い勝手が良かったり、外見がエレガンスであることを約束してくれます。

　それでもアウトレットモールに行くと売れ残ってバーゲンに出されている商品もあります。売れなかった理由は様々なのでしょうが、品質は変わらないけれど見た目や使い勝手に不足があったのかもしれません。
　付加価値はあったほうが良いのでしょうが、やっぱり大切なのは商品そのものであるということではないでしょうか。

　人間も同じだと思います。学歴やスポーツの実績といった、自分に付加価値をつけていくことは生きていくうえでプラスになることは間違いないと思います。それを獲得するために努力することは大事なことです。

　しかし付加価値があっても人間としての中身が伴わないと意味がありません。誰もが聞いたことのある一流の企業に勤めていても、不正に手を染めたり、弱者をいたわらない仕事をしていたりすることで人間性を貶めてしまっては何にもなりません。

　あくまで付加価値は人間としての深みを補充させるものであって本質ではありません。

　例えばスポーツで全国大会に出られたり、優勝できたりするのは一握りのプレイヤーです。それを目標に努力を重ねてもすべての人が達成できるわけではありません。

　それでは付加価値のつかない人間はダメなのでしょうか。それは絶対に違います。本質は中身にあります。

　目標に向かって努力することは良いことです。しかし目標が達成できなかったとしても自分を否定する必要はまったくありません。付加価値を評価する他者もいれば、本質しか興味がない人もいます。自己肯定感が高く、社会的弱者に優しい視線を向けられる人間性を磨くことが一番大切なことだと思います。

　努力の本質は結果ではなく過程です。達成よりも信じるに値する自分を創ることに価値があります。